

花ごよみ

2024年 2月22日 251号

発行：公財)東京動物園協会 井の頭自然文化園

立春も過ぎて、気温が上がる日も増えてきました。園内でも、春の兆しがところどころで見られるようになりました。

1

早春に福を招く花



フクジュソウ

早春に黄金色の花を咲かせます。開花期が数週間から1か月程度と長いことなどから、福寿、長寿の意味を込めて「福寿草」と呼ばれるようになったようです。

また、旧暦の正月である2月頃に咲くことから元日草（がんじつそう）や朔日草（ついたちそう）とも呼ばれています。

花は、陽が当たると開き、曇りや夜間は閉じるのも特徴のひとつです。

2

香りの良い花



ジンチョウゲ

花の香りが香木の「沈香(ジンコウ)」や香辛料の「丁子(クローブ)」の香りに似ていることから名付けられたと言われています。

3

可憐なひとしずく



スノードロップ

スノードロップはその名の通り、雪のしずくのような下向きの花を一輪咲かせます。冬の終わりから春先に花を咲かせ可憐な姿で春を告げます。

4



ヒイラギナンテン

5



ツルニチニチソウ

6

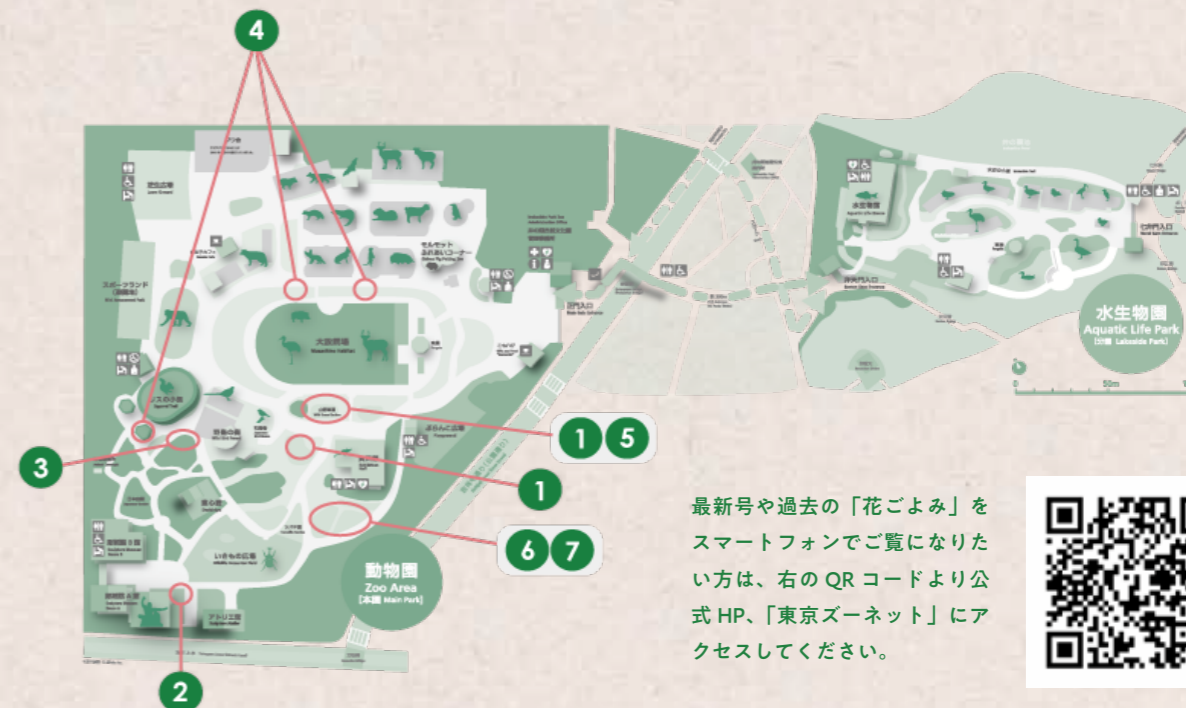


ツバキ (光源氏)

7



ツバキ (白玉絞)



最新号や過去の「花ごよみ」をスマートフォンでご覧になりたい方は、右のQRコードより公式HP、「東京ズーネット」にアクセスしてください。

